

TALK & TALK

市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直させていただきます。あて先は広報広聴係(〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所企画調整課)です。



柳瀬 ミツ (下道湯)

庄瀬地区敬老会に招かれて

光陰矢のごとしとか。歳月の流れは放たれた弓矢のごとでございませうか。放たれた矢は戻ることはありません。私も多くの方々に支えられ、二度と戻らぬ人生の険しい道を踏み外すことなく、今年七十七歳となりました。

過日十月三日、地区の敬老会に招かれました。良き日相に恵まれ、出席いたしました。まずは婦人会の方々の笑顔に迎えられ、また受付係の方のご配慮に感激いたしました。

市長さんの祝辞に続き、県からの身に余る寿の賞状とお菓子を、市長さん自ら一人ひとりに手渡され、ありがたく、深く感謝しております。また、ご来賓の方々のお祝いの言葉をいただきました。健康であること喜び合いました。

飲食には心尽くしの品々をいただき、皆元気に乾杯。おいしくいただきながら、かわいい歌と踊りや、華やかでつややかな舞の舞いなどをたっぷりと見せていただき、一日を楽しく過ごさせていただきました。最後に万歳、唱を唱えてお別れいたしました。本当に忘れることのでき



谷川 悠子 (戸頭)

私の国際化 気付かされたこと

国際化といわれはじめ、広報しろねにも国際交流の話題がよく載るようになった。

私の外国人とのかわりといえ、ニュージーランドからの高校生を、回ホームステイさせたこと。タイ人、カナダ人、中国人を各々が家へ招いたこと。職場や車中での出会い、そして三回の海外旅行体験である。中国人の研修生(五十歳の女医さん)からはわが家の台所で水ギョウ



ない一日となりました。大変ありがとうございました。ごさいました。

翌日の四日は二十年七月四日に戦死した夫の命日です。で、いただいた賞状やお菓子を仏前にお供えし、今の幸せを告げました。

孫たちには常に「百歳まで生きても生きたい」と答えておられます。「健康で生きたい」と答えておられます。現在は、五年間苦しんだ肩やひじの痛みもなくなり、庭の草むしり、また少々の畑に自家用の野菜や花を作っております。

今後はいただいた賞状に書かれてありますように、豊かな心で健康で生きたいと思っております。敬老会でお話をしてくださった皆様、どうもありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

敬老会皆にこやかに集ふかなにこやかに集ふ一日や敬老日



山崎喜代治 (西笠巻新田)

国道8号 バイパスより4車線を

白根市で早くから計画されて、市民が大変期待して待つ事業に、国道

8号を習いながら、中国の食生活、経済、教育などの諸問題を話してもらった。高いお金を払っての観光旅行で、知りたかったことが何も見えず、疑問を残した旅だっただけに、目からうろこの落ちる思いであった。

また、先日東京でバハマ国の学生に「日本人ですか」と問われた。日本でも外国人が目につくようになり、日本人かどうかを確認しないと分からないほどに国際化してきたのも事実だ。多くの国は多民族国家で、その国の中で、その国の人かどうかを尋ねても、不自然ではないのかも知れない。



青木きよ子 (大通1丁目)

更り多かつた 更生保護婦人研修

きよつし心の子らをいさよする母ともなっていくくまなむ御歌の斉唱で開会した更生保護婦人連盟のブロック研修会が、「明るい平和な社会をつくるために」のテーマで、開催されました。参加



バイパスがあります。しかし、いまだにさっぱり、朗報が聞こえてきません。

私の考えでは、バイパスというのは、他の地方または近郊の車の通過設備であり、市の繁栄にはあまり関係のないものと思います。よって、バイパスを作るよりも、今の国道を四車線に改造して、交通の便を良くすることこそ、街自体のいちばんの発展につながるものと思うのです。

私は農業をやっているもので、農地をつぶすのを反対しているわけではありません。しかし、用地を確保する困難は、国道沿線も、また現在計画されている線も、同じではないかと思っております。愚考を申し上げます。

した私は、母親的温もりのある大勢の厚生保護婦人の方々に会うことができ、

予算もないのに、何か事を起こすのは大変なことです。「かごに乗る人、そのかごを担ぐ人、そのわらじを作る人」——そのわらじを作る人的存在が、更生保護婦人の役割です。布施の気持ちで実践活動をし、市民にアピールしています。

最近の世の中は変動が激しく、青少年の非行も多様化しています。今の時代は無責任で、みんながなすり合いをしているような世の中です。社会環境が悪い、学校が、仲間が悪いといいますが、親がいちばん気を付けなければならぬと思います。愛情と対話のある家庭。子供は親の背中を見て育つていくのです。

研修会では講演がありました。光門寺住職の指人形劇で「ある家庭の中で」という演題。赤トンボのハルモニカのメロデーに始まり、笹舟でホロリとさせたり、笑いと感嘆、演歌や朗詠。一人芝居とは思えぬユーモアあふれる多芸ぶりに、ヤンヤの拍手でした。高齢化社会の中で、話で、お互いが思いやりの心を持った、地域の人々との触れ合いの話でした。

市民文芸

俳句

使ひ重取るだけと言ふ稲架くる 五十嵐寛吾
見ゆるもの皆白々と秋に病む 安沢 飛浪
ちぐら児を作る櫛の実探しけり 木村 トリ
晩き蚊をあはれ蚊といふ津整弁 公條 雪夫
幸せを届ける如く栗配る 樋口 トシ
朝空に蜻蛉の羽のきらめけり 小林 すみ
秋惜しむ形見分けなる香聴いて 成沢 素明
一雨に秋草色を深めけり 山口 初野
麻酔覚めばつと一輪バラ赤し 丹羽 白水
登ちらる使わぬ鉄にひそみけり (以上大風会)
つくばえの底まで澄みて末枯る 山田 栄一
末枯の影押して来る乳母車 間島喜代子
末枯や帽子忘れて戻りけり 真島つぎえ
飛石に木の実のまるぶ屋敷跡 小野 義之
木の実独楽大きくゆれて倒れけり 小林 なお
葉草の干されし葉も末枯る 小川 千代
日の温み溜め末枯の田圃道 金子 静子
神領の暮目踏んで推拾ふ 塚本 静子
(以上かまつか新飯田俳句会)
弥彦より佐渡にかかる秋の虹 玉木 長吉

短歌

敬老の日該当すると婦人部の知らせにてれつ出席を断つ 小出熊四郎
嫁ぎ来てきびしき山も下りきし いま振りかへり悲喜こもごもの日を 小出よしの
老い言はず野菜作りにいそしみて 今年も芋の作柄はよき 織田 護
吾の住める村の展かれ外人の混じりて進む登校の列 中村 京
夕焼けに掛け声高く大群の 一冬飄湖に楽しく羽ばたけ 長谷川久二

川柳

普段着で心晒せる友一人 西条 ムラ
夢だけが先廻りする人生譜 早川 英男
乱終わり悔やむ昨日は戻らない 吉川 彰
胃袋が遠慮している米不足 米野 光雄
善悪の時を刻んで今日も暮れ 山岡 フミ
相乗りは七福神とする船出 今井 七郎
煩惱を乱す女の赤い爪 織田 福治
運命線その先夢と戯れる 織田 セツ
運転手の欠伸に不安つきまどう 後藤マサノ
米不足農政を刺す百舌の声 佐藤トミノ
母の丈越した記念の木が育ち 佐藤 トキ
大根豊作不作の米の代わりです 高橋祐四雄
ビジネスの夢現役の若いまま 竹石 基五
いろいろな噂は噂信じ切る 田中 成子
真夜中の電話心電図が乱れ 田村 恒夫
米櫃を覗いて堅いパン齧る 中村 尚治
亡き父の下戸が飲んでいる夢の中 大谷 龍吉
(以上白根川柳文芸会)